

2020.12.22

## 2020年11月のスタートアップ雇用指数「WANTEX」は 上昇基調が継続し過去最大の3.18という結果に(前月比+0.34ポイント)

スタートアップ企業がビジネス SNS「Wantedly」へ掲載した募集数に対する応募者数の割合を  
日本におけるスタートアップ経済の成長性を示唆する先行指標として公開  
デジタル人材ニーズは特にコンサルティング、金融・保険業界で高く、DXの加速を示唆する結果に

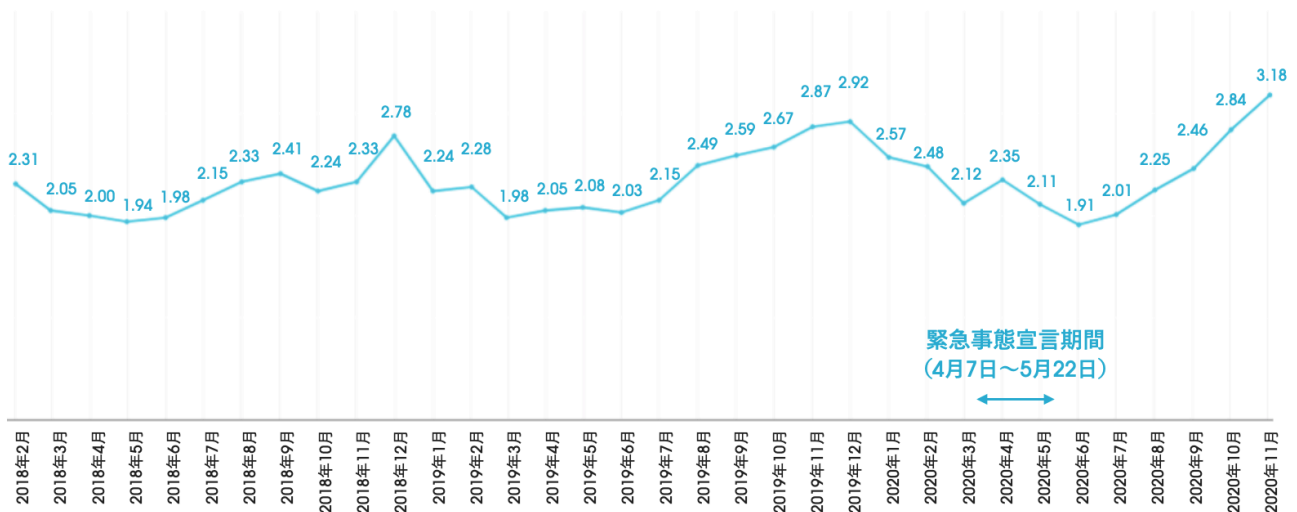


ビジネス SNS「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社は、2020年11月版のスタートアップ雇用指数「WANTEX」(Wantedly Job Market Index、読み：ウォンテックス)を公開しました。

### 過去最高値を記録した2020年11月のWANTEX

WANTEXは東京都が緊急事態宣言を発令した2020年4月~5月から上昇を続け、2020年11月には3.18となり2019年12月の2.92を越え、過去最高値という結果に。

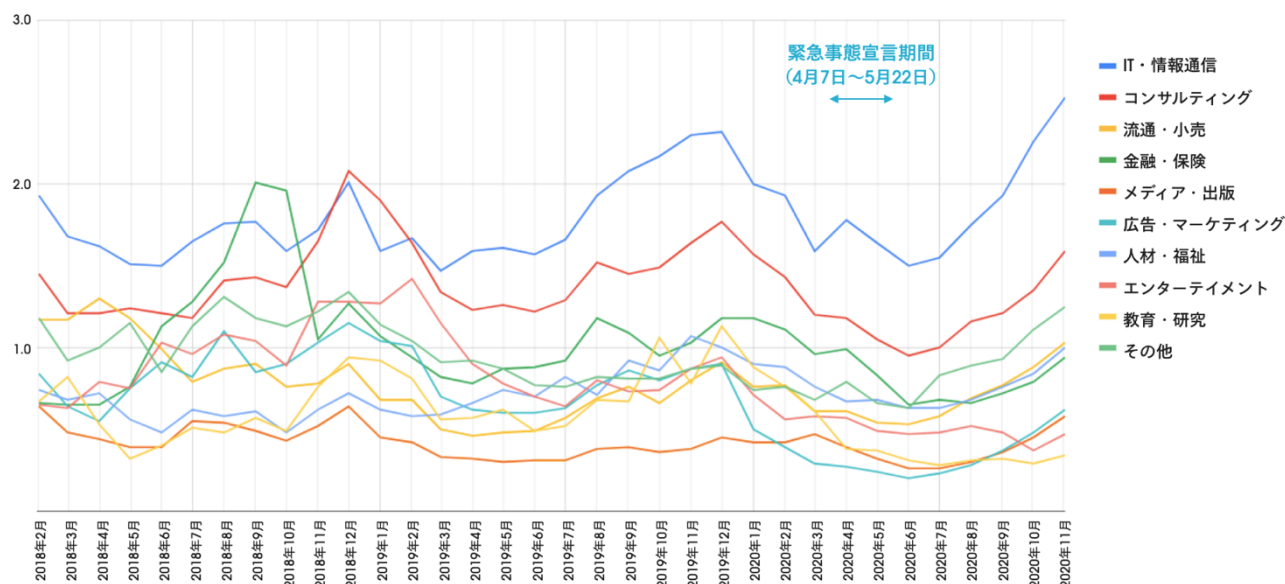
#### WANTEX 推移



## 業種別では、IT・情報通信、コンサルティング業界の回復が早い

業種別の WANTEDLY 推移を見ると、緊急事態宣言で全業種において減少の傾向が見られましたが、2020/6月以降では、特に IT・情報通信、コンサルティングの分野における上昇が確認されました。

### 業種別 WANTEDLY 推移



2020年11月時点の WANTEDLY の業種別ランキングは以下の通りで順位変動はなく、全業種において伸びが見られました。「広告・マーケティング」「メディア・出版」業界では2020年10月と比較し129%と、特に大きな伸びが見られました。WANTEDLY が1倍を割り込んでいる業種においては募集の数に対して応募人数が超過しているという状況のため、該当業種のスタートアップ企業は採用しやすい状況にあると思われます。

### 業種別 WANTEDLY ランキング (20/11月)

No.	業種	WANTEDLY	対20/10月比
1	IT・情報通信 -	2.53	112%
2	コンサルティング -	1.59	118%
3	その他 -	1.25	113%
4	流通・小売 -	1.03	117%
5	人材・福祉 -	1	119%
6	金融・保険 -	0.94	119%
7	広告・マーケティング -	0.62	129%
8	メディア・出版 -	0.58	129%
9	エンターテインメント -	0.47	127%
10	教育・研究 -	0.34	117%

## 非首都圏では、特に宮崎県のスタートアップ経済に伸びが見られる

東京都を除いた 46 道府県における WANTEX に着目すると、昨年同月比 164%と大幅な成長を見せた宮崎県が先月に引き続きトップという結果に。

### 道府県別WANTEXランキング (20/11月)

No.	道府県	WANTEX	昨年同月比
1	宮崎県 ↓	1.89	164%
2	大阪府 ↑	1.18	74%
3	愛知県 ↓	1.06	79%
4	京都府 ↓	1.04	89%
5	神奈川県 ↑	1.03	93%
6	埼玉県 ↓	0.95	36%
7	兵庫県 ↑	0.84	115%
8	千葉県 ↑	0.79	45%
9	福島県 ↑ NEW	0.76	76%
10	北海道 ↓	0.73	97%

※道府県別 WANTEX：該当する道府県を所在地として登録しているスタートアップ企業の掲載募集数を、それに対する応募者数で割り込んだ数を指します。

## 職種別ではエンジニアリング系がトップに。緊急事態宣言下からの伸びはコンサルティング系が最も大きいという結果に

2020年11月時点の職種別 WANTEX に着目するとエンジニアリング系職種がトップという結果となり、エンジニアリング関連の仕事の需要が高まっていると思われます。また、緊急事態宣言下にあった5月からの WANTEX の変化を見るとコンサルティング系職種では 221%と、最も大きな伸びが見られました。IT・情報通信、コンサルティング業界全体の WANTEX の高まりに伴い、親和性の高い職種の仕事の需要が高まっていると考えられます。

### 職種別WANTEXランキング (20/11月)

No.	職種	WANTEX	対20/5月比
1	エンジニアリング	3.62	145%
2	セールス・事業開発	2.85	172%
3	PM・Webディレクション	2.61	185%
4	デザイン・アート	2.05	156%
5	コンサルティング	1.81	221%
6	コーポレート系	1.56	130%
7	メディカル系	1.49	210%
8	マーケティング・PR	1.39	148%
9	カスタマーサクセス・サポート	1.37	171%
10	編集・ライティング	0.82	124%

## 非 IT 系業種のなかで、デジタル系人材の WANTEX が高かったのはコンサルティング業界という結果に。DX 加速の影響か

情報通信業を除いた業界において、デジタル人材の WANTEX が 1 を越えていたのはコンサルティング業界、金融・保険業界という結果に。これらの業界では特に DX 推進の波を受け、デジタル系人材のニーズが高まっている状況にあるのではないかと考えられます。

### 業種別デジタル人材WANTEXランキング (20/11月)

No.	業種	WANTEX
1	コンサルティング	1.41
2	金融・保険	1.18
3	流通・小売	0.87
4	その他	0.87
5	メディア・出版	0.66
6	広告・マーケティング	0.45
7	エンターテインメント	0.45
8	教育・研究	0.38
9	人材・福祉	0.32

※デジタル人材定義：「エンジニアリング」「PM・Web ディレクション」「デザイン・アート」の 3 職種で Wantedly に登録している人を指します。

## スタートアップ雇用指数「WANTEX」について

### ■ スタートアップ雇用指数「WANTEX」の定義

【算出式】「WANTEX」 = (スタートアップ企業が掲載している公開状態にある) 募集数 ÷ (スタートアップ企業への) 応募者数

※スタートアップ雇用指数は上記式の各項を月次で合算して算出しています。

※募集数、応募者数ともに、Wantedly で公開された募集、応募した登録者を算出対象としています。

※スタートアップ企業は算出月から創業 10 年以内の企業を指します。

### ■ WANTEX 公開の背景

Wantedly はスタートアップ企業とともに成長し、2020 年の情報・通信業に分類されるマザーズ上場企業のうち、約 7 割(20/12/22 時点)にご利用いただくに至りました。世界的には米国、中国を中心にスタートアップ経済が活況を示す中、未来の日本の産業を創る新興企業のトレンドを可視化することで、私達は日本のスタートアップ経済をより一層盛り上げていきたいと考えています。そのため、2020 年 11 月よりスタートアップ経済の成長性を示唆する新たな先行指標として、スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を開始いたしました。

ウォンテッドリーは、企業の潜在転職者への認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進しております。スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を通じて、未来の日本の産業を創るスタートアップシーンの盛り上がりを加速させることで、Wantedlyが「はたらくすべての人のインフラ」となる世界の実現を加速させてまいります。

## ウォンテッドリーについて

---

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数36,000社、個人ユーザー数270万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

### <会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社  
URL : <https://www.wantedly.com>  
本社所在地 : 東京都港区白金台5-12-7 MG 白金台ビル4F  
代表取締役 : 仲 暁子  
設立 : 2010年9月  
事業概要 :

270万人以上が利用するビジネス SNS「Wantedly」

- 会社訪問アプリ「Wantedly Visit」
- つながり管理アプリ「Wantedly People」

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite